

まちの鼓動

1/20 イチゴ果実品評会

今年もイチゴ果実品評会が行われ、アスカルビーや古都華など、市内の農家から8品種・27点のイチゴが出品されました。JAならけん大和郡山市イチゴ部会の乾会長は「どの農家も、酷暑の影響に悩まされましたが、みなさんに美味しいイチゴを食べてもらえるように育てました」と挨拶。



イチゴの鮮やかな赤、華やかな香りが広がる会場にて、市長や募集で選ばれた一般の審査員2人、農業関係者が審査し、金賞2点、銀賞3点、銅賞5点が選ばれました。

1/22 金魚の初競り

この日、郡山金魚卸売センターにて、今年初となる金魚の競売会が行われました。生産者は丹精込めて育てた金魚を出品。会場となる建物は池の中心に建っており、周りには出品された金魚が木箱に入れて並べられている、独特な風景を見ることができました。



参加者が集まると、掛け声に合わせて金魚の競売会が開始。建物の中を流れる水路に、順番に金魚が入った木箱が流れてきて、参加者はその金魚を次々と競り落としていきました。

1/25 手話でひらく☆未来フェスタ ~未来へ広がる手話の輪~

手話言語条例が制定されて10周年を記念したイベントが、DMG MORI やまと郡山城ホールで開催されました。オープニングでは、郡山高校と県立ろう学校、各校の演劇部が合同で演劇を披露。市役所職員による手話パフォーマンスや、今川竜二さんによる記念講演も行われました。



そのほか手話教室や手話のクイズ&スタンプラリーなど、手話に関する内容が盛りだくさん。大ホールにて、手話を使った「翼をください」の大合唱でフィナーレを飾りました。

2/1 第20回記憶力大会

今年第20回を記念して秀長さんの部が行われ、小中学生が参加し、秀長さんまつわる問題にチャレンジしました。例年行われている競技の部、自慢の部、頭脳スポーツの部でも参加者が輝田阿礼を目指して、記憶力に挑戦。部門ごとに雰囲気は違っていました。



楽しみながらも、真剣に臨む姿が見られました。また、今回は特別に、市内の4~12歳の子もたちが大ホールの舞台上で阿礼様音頭などを披露。会場は華やかな雰囲気になりました。

秀長さん給食が登場しました

豊臣秀長が礎を作った「箱本十三町」という制度の名残として今も残る、魚町、塩町、雑穀町や豆腐町などの町名。

1月28日(水)に、その町名にちなんだ食材を使った「秀長さん給食」が届けられました。

お品書き	
雑穀ごはん	乳
牛	さばの塩焼き
奈良の豆腐サラダ	かす汁
記念味付け海苔	



第21回市町村対抗子ども駅伝大会 出場選手

3月8日(日)に開催される駅伝大会に出場する市代表選手が決まりました。

(前段左から)辻 紗季さん、野上 知花さん、大中 芽さん、松岡 りこさん
(後段左から)辻 良祐さん、松岡 吳馬さん、大塚 隆仁さん、山口 湧也さん



秀長さん給食記念味付け海苔 イラスト入賞作品

中学生442作品の中から重川 心路さん(上側)、小学生445作品の中から大塚 理奈さん(下側)のイラストが最優秀賞に選ばれました。

